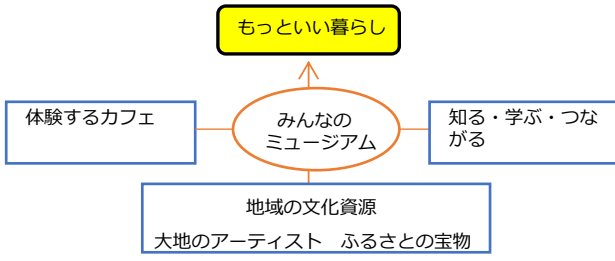


夢の扉を拓くための知る・学ぶ・つがるビジネスプロジェクト 「ふるさとの食とアートをマリアージュしたミュージアムカフェを起業する」



知る・学ぶ・つながる みんなのミュージアムを起業する
夢に出会い、夢を育み、もったいいしたをデザインしようとする思いがわきあがる新しいカフェスタイル

- ①私たちのふるさとは、水と緑に恵まれた豊かな大地があります。光と風を読み、未来予想図を描いてみんなでチカラをあわせてとっておきのおいしいモノを育む匠がいます。大地のアーティストが育んだそれらの宝物をもっとおいしく、もっと幸せにいただくために手のチカラで器をつくる匠がいます。
- ②名も知れぬアーティストたちのステキな物語をもっとたくさんの人に届けるためにおいしいとアートを縁結びして、みんなが知る、感じる、つながる場を創出し、する新しいミュージアムビジネスを起業するプロジェクトに挑戦します。
- ③私たちのプランは、百貨店やイオンの次に来る新しい集客商業施設のあり方と同時に図書館、博物館、音楽ホールの新しいカタチを提案するものです。

【起業ビジネス実証実験】

おいしいミュージアム

ふるさとの食とアートのマリアージュ

- ◆会期 2018.02.21 (水) - 2018.03.10 (土) 10:30
- ◆会場 筑波学院大学付属図書館 (みんなのミュージアム)
つくば市吾妻3-1 oishii@tsukuba-g.ac.jp
- ◆主催: みんなのミュージアムカンパニー 筑波学院大学
- ◆「おいしいミュージアム」5つのコレクション



地域デザイン学芸員の訓練をつんだ私たちが探してきた大地のアーティストたちの逸品を出品いただきます。

- ①蔵出し焼き芋紅天使
かいつか (かすみがうら市)
さつまいもを熟成させる目利きの専門スタッフが、貯蔵温度と湿度をみきわめ、最高の状態に熟成させ、その日の気温、湿度、さつまいもの状態にあわせて、ひとつひとつ手間をかけて焼きあげた新しいスタイルを提案する焼き芋です。
- ②愛するこころやよいひめ
森作いちご園 (行方市)
粒が大きく、甘みが強く、香りがあり、食感もサクッと置いてジューシーな「やよいひめ」をもっとおいしくし、どこにもない「やよいひめ」にするために、4年間の試作をへて化学肥料を使わないで完成した「森作いちご園」オリジナルブランドです。
- ③夢をひらくレンコン
根本れんこん園 (かすみがうら市)
かすみがうらの土地のチカラを知りつくしたからこそできる愛情が注がれたレンコンです、根本れんこん園では、現在、とレンコンの達人だからこそできるレンコンのおいしい食べ方、調理方法までふみこんだブランド開発に挑戦しています。
- ④幸せを育む笠間の器K
笠間焼き向山窯
少数精鋭の若手陶芸家を結集し、チームワークで、手のチカラをいかして顧客の生活に幸せをもたらす器づくりの取り組み向山窯を創設し、生活者志向のモノづくりに挑戦しています。女性や海外からの陶芸家も参加して、おいしい暮らしのカタチを社会に提案しています。
- ⑤大地のチカラをいかすオーガニック食品
ヴィナイオータ
イタリアの小さいムラくまなく歩き、農民や醸造家と語りあい、つくり手の良心、覚悟、情熱がいっぱいつまったおいしいモノがもたらす感動を探し、その感動をみんなと共有するシゴトに取り組んでいるインポータがホンモノのワイン、生ハム、パスタ、穀類、オリーブを届けます。

◆「おいしいミュージアム」7つの構成要素

おいしいミュージアムでは、暮らしの宝物に出会い、大地のアーティストの知恵と情熱にふれることができます。あなたの五感を使って、見る、聴く、食べる、読む、つながる7つの体験を准しました。ここでは、暮らしデザインするよこびや楽しさを発見することができます。

- ①おいしい宝物
大地のアーティストがみがきあげた逸品「蔵出し焼き芋紅天使」「夢をひらくレンコン」「愛するいちご」のこだわりとそれができあがるまでの感動のドラマを物語に表現し、楽しく知ることができるように絵本と動画にします。
- ②おいしい本棚
誰もが気軽に手にとってみようと思ひ、おいしい感動に出あうことができる本をセレクトします。本を手にとって、学びへの入り口に誘うことができるように本棚をデザインして、配置します。
- ③カフェレストラン
地域デザイン学芸員が、「蔵出し焼き芋紅天使」「夢をひらくレンコン」「愛するいちご」「愛するいちご」の逸品と手づくり器、笠間焼向山窯をマリアージュして、ホントウのおいしいをアートとして感じる新しいカフェスタイルを提案します。
- ④ミュージアムグッズ
カフェで体験した「蔵出し焼き芋紅天使」「夢をひらくレンコン」「愛するいちご」「向山窯の器」を自宅に持ち帰り、家族でわかちあえる商品にリデザインし、それを学ぶワークショップと連動させ提示します。
- ⑤知りたくなる空間
静かな空間であった筑波学院大学付属図書館と「おいしい宝物」「おいしいにあえる本棚」「おいしいカフェレストラン」をマリアージュして、もったいい暮らしをしようという思いをいさぐミュージアム空間にデザインします。
- ⑥おいしいホスピタリティ
大地のアーティストたちの逸品は、目にみえない感動について暮らしのヒントを育む視点で伝えることができるキャストが必要です。ソムリエやパスタのスキルを習得した地域デザイン学芸員がそれを実践します。
- ⑦つながるプログラム
おいしいを「食べる」から「学ぶ」に飛躍させる、「朗読コンサート」「交流会」「ワークショップ」を併催することで「みんなのミュージアム」のファンになってもらうためのアクティビティを展開します。